

一般質問通告者一覧表（6月20日）

令和7年第2回東広島市議会定例会

発言順	通 告 者	質 問 要 旨			答 弁 者	発言時間	
		項目	細目	詳細			
1	貞 岩 敬	1	「平和・非核兵器都市東広島市宣言」40周年について			市 長 副 市 長 教 育 長 担当部局長	35分
			(1)	「平和・非核兵器都市東広島市宣言」の取り組みについて 広島、長崎に原爆が投下されて80年を迎え、さらに戦後80年を迎えました。 本市では昭和60年(1985年)6月27日に「平和・非核兵器都市東広島市宣言」が議決されています。			
				ア	原爆投下80年、戦後80年、「平和・非核兵器都市東広島市宣言」40周年を迎えて、本市の平和実現の姿勢についてお聞かせください。		
				イ	「平和・非核兵器都市東広島市宣言」について、市民に対してどのような取り組みをされてきたのかお聞かせください。		
				ウ	学校教育において「平和・非核兵器都市東広島市宣言」を取り上げた教育内容があればお聞かせください。		
		2	学校教育について				
			(1)	タブレットの使用と学力について スウェーデンでは、デジタル教材を重視したことによって学力が低下したということで、紙の教科書に回帰するとのことです。我が国においては、タブレット端末の利用と学力の関係について、今のところ文部科学省からの報告はありません。			
				ア	本市において、タブレット端末利用以前と以後について、全国的に実施される学力テストにおいて、有意差を見て取ることはできるでしょうか。		
				イ	タブレット端末を利用して教育効果があがった事例があればお聞かせください。		
			(2)	情報教育について 2030年度から順次実施予定の新しい学習指導要領について、現在、中央教育審議会において論議がすすめられているところです。現行の小学校45分、中学校50分の授業時間をそれぞれ5分短縮し授業コマ数を増やす案が示されています。 また、小学校において情報教育に関する領域を新設し、総合的な学習の時間で扱う案が示されています。			
				ア	現行の学習指導要領でのプログラミング学習について、本市の実状についてお聞かせください。		
				イ	情報教育について、本市での実践例があればお聞かせください。		
		3		西条第二地区の防災体制と災害発生時の避難所の食事について			
			(1)	西条第二地区の防災体制について 開発が進む西条第二地区は、そのほとんどが東広島市ハザードマップで、洪水による浸水が想定される地域です。			
				ア	西条中央巡回線、寺家中央線に浸水被害を防ぐための雨水管が埋設される予定ですが、これだけで防災対策は充分とお考えでしょうか。		
				イ	これ以外の防災対策があればお聞かせください。		
			(2)	災害発生時の避難所の食事について 市内において学校や地域センター等が災害発生時の避難所に指定されています。			
				ア	災害が発生した際、避難所での食事について、アレルギーへの対応食は準備されているのでしょうか。		

一般質問通告者一覧表（6月20日）

令和7年第2回東広島市議会定例会

発言順	通 告 者	項目	細目	詳細	答 弁 者	発言時間	
2	片山 貴志	1	次世代学園都市構想について			市長 副市長 市教育担当部長	35分
			(1)	「次世代学園都市ゾーンのまちづくり」について 令和7年3月に、「東広島市次世代学園都市ゾーンのまちづくり」が作成され、総務委員会で報告された。2050年の将来像を想定するものであり、本市の重要な未来像である。			
			ア	「イノベーションを創造し、世界から起業家や研究者が集まる持続可能で成長するまち」とあるが、どのような施策でそれを実現するのか、本市の見解を問う。			
			イ	ブラウンフィールドの目指すダイバーシティを意識した「大学街」とは、どのようなものなのか問う。			
			ウ	グリーンフィールドの設定にあたり、候補地の具体的な有無について問う。			
			エ	グリーンフィールドにおいて、企業の研究開発拠点を誘致するための手法について問う。			
			オ	吉川地区における「田園景観と居住環境が共存したまちづくり」とあるが、居住環境の範囲や内容について問う。			
			カ	道路網等交通ネットワークの充実にて、本市の最大の課題でもある朝夕の交通渋滞の課題解決に向けて、どのようにアプローチしていくのか問う。			
		2	観光施策の強化について				
			(1)	バンケット施設を備えた宿泊施設の立地可能性について 4/15の市民経済委員会にて、124ページにも及ぶ「都市型宿泊施設等立地可能性調査」の報告があった。今後の方向性として、「民間事業者主導による整備は困難な状況にある」との報告であった。			
			ア	バンケット収容人数は400～450人とあったが、これはどの規模の会議を想定し設定したのか、この人員設定の理由について問う。			
			イ	西条駅から徒歩圏内という条件を満たす、土地の確保の可能性について問う。			
			ウ	実現に向けた取組みの中で、「新たな観光需要の創出」や「官民による支援」の具体的な取組み内容について問う。			
			エ	「バンケット需要を極力市内で満たしていくため、市内の中規模施設の積極的な活用」とは、どの施設を想定しているのか、また対応可能なのか問う。			
			オ	「バンケット施設については、民間事業者による整備・市が直接建設運営を行う方法・民間事業者を支援する方法・既存施設の修繕・改修など、さまざまな手法の比較検討を進めていく」とあるが、具体的にどのように比較検討しているのか問う。			
			(2)	持続可能な観光事業について 令和5年7月～令和7年2月まで、「持続可能な観光事業の推進研究会」として、5人の議員で調査研究をしてきた。調査研究結果を報告書にまとめ本市議会のHPで公表している。報告書において、先程の質問でもある「宿泊施設及びコンベンション機能の不足」を含め、大きく7つの取組みの必要性について整理した。			
			ア	上記の報告書において整理した、今後必要と考えられる7つの取組みに対し、総括的な本市の見解を問う。			
			イ	観光を進めていく上で、本市の魅力を伝えていくことが重要であり、これは移住定住にも繋がるものである。これは広報戦略という名の通り、本市全体で戦略を立て様々な効果的なPRをしていく必要がある。広報戦略の重要性について本市の見解を問う。			
			ウ	来年度から始まる予定の広島県の宿泊税であるが、現在の分かっている情報および目的や用途について本市の見解を問う。			
			エ	本市の関係人口増加・移住定住促進・経済活性化など、持続可能な観光事業の促進による本市のメリットは、非常に大きなものであると考えるが、本市の見解を問う。			

一般質問通告者一覧表（6月20日）

令和7年第2回東広島市議会定例会

発言順	通 告 者	質 問 要 旨			答 弁 者	発言時間
		項目	細目	詳細		
2	片山 貴志	3	命と暮らしを守る体制の整備について		市 長 副 市 長 教 育 長 担当部局長	35分
			(1)	受動喫煙防止区域における喫煙所の設置について 受動喫煙を防止するための措置が講じられている喫煙所の設置は、受動喫煙防止やポイ捨てのない綺麗なまちづくりおよびやさしい未来都市東広島の実現において重要である。他市では喫煙禁止エリアなどの公的施設には、喫煙所MAPそして受動喫煙を防止するための喫煙所が設置されている施設等が多くある。健全なまちづくりの一環として、喫煙所の整備は重要な課題となっている。		
			ア	受動喫煙防止区域での喫煙所設置におけるメリットとデメリットについて問う。		
			イ	きれいなまちづくりキャンペーン等におけるたばこ関連ゴミの割合はどのくらいか問う。		
			ウ	喫煙所設置について医師会から意見・助言等を受けているのか。受けている場合、これに対する市の見解を問う。		
			エ	たばこ税の目的およびその用途について、本市の見解を問う。		
			オ	受動喫煙防止区域内において、今よりも喫煙所の設置を増やしていくべきだと考えるが、本市の見解を問う。		
			(2)	本市のAED設置状況について 議員研修においても救命講習を実施してもらったが、その中でAEDの使用は心停止から、10分以内に実施することが必要であるとのことであった。本市のAED設置場所は「ひがしひろしまっふ」で確認できるとのことだが、地域差や利用可能時間の課題がある。		
			ア	本市のAED設置個所の状況とその課題について問う。		
			イ	AED設置をさらに促進するための施策について問う。		
			ウ	市内のコンビニ全店へのAED設置が必要と考えるが、その現状および実現可能性について問う。		

一般質問通告者一覧表（6月20日）

令和7年第2回東広島市議会定例会

発言順	通 告 者	質 問 要 旨			答 弁 者	発言時間	
		項目	細目	詳細			
3	大下 博隆	1	淡竹林の枯死について			市 長 副 市 長 教 育 長 担当部局長	35分
			(1)	淡竹林の枯死拡大に対する市の認識と対応について 東広島市では、2020年頃から淡竹林の枯死が進行しており、昨年からその進行が加速している。特に、道路沿いでの倒竹等に対する懸念が高まっている。			
				ア	市内で確認されている淡竹の開花および枯死の範囲と実態について、市としてどのように把握しているか伺う。		
				イ	倒竹による通行障害や災害リスク、農地・宅地への影響を未然に防ぐための対応策について、市の考えを伺う。		
				ウ	枯死後の植林・伐採やそれに伴う所有者支援について、市の考えを伺う。		
		2	小中学校への冷水器の設置について				
			(1)	改正労働安全衛生規則を踏まえた熱中症対策と冷水器整備の必要性について 令和7年6月1日から施行された改正労働安全衛生規則により、職場における熱中症対策が強化された。これは教職員の職場環境改善という観点からも、学校現場での対策が求められる状況にあると考える。			
				ア	教職員にとっての安全な職場環境づくり、児童生徒の健康保持の両面から、本市がこの法改正をどのように受け止めているか伺う。		
				イ	東広島市では学校施設での水道水飲用が許可されているが、冷水の提供体制が整っていない現状について、市の見解を伺う。		
				ウ	廿日市市ではモデル校での利用実態を調査したうえで、昨年度補正予算を計上し、今年度の本格導入に至っている。本市においても、まずは一定数の学校で冷水器の利用実態を調査するなど、段階的な整備に向けた検討を進めてはどうか、市の見解を伺う。		
				エ	冷水器の設置に係る予算措置、衛生管理、維持運用上の課題について、市はどのように整理し、対応していく考えか伺う。		
		3	AIの政策立案や行政運営への活用について				
			(1)	AI活用指針の策定、人材教育、効果検証、政策立案業務での試行について 近年、AI技術は民間・行政問わず標準的な業務基盤とされつつあり、政策立案や行政運営への本格的活用が求められる。本市においても令和7年度を「制度設計と導入準備の年」と位置づけ、AIの利活用を段階的に推進する必要があると考える。			
				ア	令和7年度中に、どのような業務分野を対象にAI活用指針を策定する予定か。また、活用可否やリスク評価の基準・判断プロセスをどのように整理する考えか伺う。		
				イ	職員のAIリテラシー向上に向けて、令和7年度中に実施予定の研修の内容・形式・頻度はどのように計画されているか伺う。		
				ウ	Copilot等の生成AIの活用に関して、現時点での試行状況と、定量的・定性的な効果検証はどのように行われているか伺う。		
				エ	今後、政策立案業務に生成AIをモデルケースとして試行的に導入する可能性について、市の見解と想定業務、検証方法を伺う。		
			(2)	教育現場におけるAI活用について 教育の質の向上および教職員の業務負担軽減の観点から、教育現場でのAI活用は今後さらに重要となる。本市においても、庁内業務と並行して教育現場への導入検討を本格化させるべきであると考え			
				ア	本市における教育現場へのAI導入について、現時点での市教育委員会の見解と今後の検討方針を伺う。		
				イ	広島県内では、広島市・福山市・府中市・三原市等でテストのAI採点システムが導入されており、本市でも同様の仕組みの導入検討を進めるべきと考えるが、市の見解を伺う。		

一般質問通告者一覧表（6月20日）

令和7年第2回東広島市議会定例会

発言順	通 告 者	質 問 要 旨			答 弁 者	発言時間
		項目	細目	詳細		
3	大下 博隆	3	(3)	AI活用に向けた専門人材の活用と体制整備について 制度設計、技術評価、運用支援においては、一定の専門性が求められる分野であり、庁内リソースのみでの対応には限界がある。外部アドバイザー等の導入による体制強化が今後不可欠と考える。	市長 長 市長 長 副市長 長 教育 長 担当部 長	35分
				ア AI活用の推進にあたり、専門的知見を有する外部人材の参画が重要であると考え、本市としてその必要性をどのように認識しているか伺う。		
				イ 外部アドバイザーや技術支援体制の導入・活用について、令和7年度中にどのような検討・準備を進める予定か、市の考えを伺う。		

一般質問通告者一覧表（6月20日）

令和7年第2回東広島市議会定例会

発言順	通 告 者	質 問 要 旨				答 弁 者	発言時間
		項目	細目	詳細			
4	宮川 誠子	1		現在の最重要課題は農業		市 副 市 長 教 育 長 担当部局長	35分
				(1) 戦後、我が国で行われてきた農業政策を検証する 現在、米不足が叫ばれ米の高騰が問題となっている。今、農業を取り巻いて何が起きているのか、水田の減反政策をはじめとして戦後行われてきた農業政策とその結果起きている実態を検証しながら農業を取り巻く課題を明らかにする。			
				ア	令和のコメ騒動 - 何が起きているのか		
				イ	食料自給率 - 世界で最初に飢えるのは日本		
				ウ	日本の農業が過保護というウソ - 関税・補助金等の世界比較と農業に対する世界の常識		
				エ	政府の進める効率化、大規模化、企業化で農業が守れるのか		
				(2) 地域農業を守るために、地方自治体に何ができるか 課題山積で、危機的状況にある農業を守るために、地方自治体にもできることを提案する。			
				ア	学校給食食材を農家と直接契約し、子供の食と農業を守る		
				イ	多様な経営体(定年帰農、兼業、半農半X、自然栽培や食料自給を目指す若者、消費者グループ etc)の参入を促す		
				ウ	高騰している資材、肥料などの価格差への補填		
				エ	有機ゴミの堆肥化により肥料の国内循環を高める		

一般質問通告者一覧表（6月20日）

令和7年第2回東広島市議会定例会

発言順	通 告 者	項目	細目	詳細	質 問 要 旨	答 弁 者	発言時間		
5	田坂 武文	1	中山間地域の活性化について				市 長 副 市 長 教 育 長 担当部局長	35分	
			(1)	福富みらいベース整備に係る諸課題について 中山間地域の活性化のため、福富町竹仁地区において、福富みらいベースの整備が始まっている。しかしながら、これまでの取り組みでは部局間の連携、協力が不十分であり、諸課題が整理されないまま整備が進められている。					
				ア	竹仁地域センターは、中小河川浸水想定区域等に指定されているが、洪水時の指定避難所として指定されていることについて問題はないのか。				
				イ	東広島市公共施設等総合管理計画の個別施設計画では、竹仁地域センターは令和14年度まで大規模改修等の予定がないが、浸水想定区域であることから、別の場所での更新が必要ではないのか。				
				ウ	福富みらいベースの整備について、東広島市公共施設等総合管理計画の方針との整合性について伺う。				
				エ	福富みらいベース整備に係る公共施設利活用推進検討委員会、各部局との協議・検討内容について伺う。				
				オ	福富みらいベースのテナントオフィスの引き合いの状況について伺う。				
				カ	福富みらいベース整備後の維持管理の方法や金額等について伺う。				
				キ	福富みらいベースの3階、運動場、体育館、プール等今回の改修計画にないものの活用計画について伺う。				
		2	道路行政について						
			(1)	交通渋滞対策について 市民満足度調査において、道路網の整備は重要度が高く満足度が低い重点化を図る領域とされている。道路網の整備には膨大な費用と時間が必要となり、より少ない費用で効果の大きい渋滞対策に重点化すべきである。					
				ア	交通渋滞対策で検討された交差点改良等について伺う。 交通渋滞調査を行われ、本市内で17カ所渋滞箇所があるとされた。令和6年度で基本設計を行うとされた3交差点及び残りの渋滞箇所についての今後の対応策等について伺う。				
				イ	記念橋交差点の渋滞解消策の協議状況について伺う。 記念橋交差点の渋滞解消策について、公安委員会、県警と協議の状況について伺う。				
			(2)	道路整備計画について 渋滞対策としての幹線道路整備の市民要望は多くあり、救急車や消防自動車などが通行できるよう生活道路の整備要望も多くある。今後、人口減少による税収の減少、扶助費などの増加が予測される中、限られた予算でこれらの道路整備を進めるためには、より経済的で計画的な道路整備が必要であり、道路整備計画を早急に見直しする必要がある。					
				ア	幹線市道の道路整備計画の進捗状況等について伺う。				
				イ	生活道路等の道路整備計画の方針等について伺う。				
			3	脱炭素社会の実現のための施策について					
				(1)	東広島市建築物等木材利用促進方針について 木材の利用を促進することが地球の温暖化の防止、循環型社会の形成、森林の有する国土保全、水源の涵養その他の多面的機能の発揮及び山村その他の地域の経済の活性化に貢献するものであり、SDGs未来都市の実現を目指す本市は、建築物等における木材の利用の促進を図る必要がある。				
		ア			広島県建築物等木材利用促進方針との違いについて伺う。				
		イ			本市の木材利用の実態について伺う。				
		ウ			本市の木材利用の推進体制について伺う。				